

拜啓

新緑の美しい季節がやって参りました。

この度二年三月日の支援と卒業する事となり、皆様には感謝の気持ちで一杯でございます。

娘が不登校になったのは、中之の10月でした。

やっぱり部活の反響の輪にうまく入れなかった事の様ですが、私の方にも思い当たる事がありました。それは

過干渉で自分でも少し子供と距離を取った方が良かった

感じていたものの、すでに手遅れで、学校も部活も一生

懸命頑張リ、頑張り過ぎて友人との関わり方を機に

破裂してしまっただのたと思ひます。

最初頃は部屋にこもって寝てばかりでしたので、ショックではありましたが、もっとおいた方が良い雰囲気でした。かと言って私との会話がないうえでもなく、食事も家族と食べお風呂も入るとネットで調べた様なひどい状態でもありませんでした。又、他の友人とは上手くやれており、休んでいる間もLINEをくれたりゲームに誘ってくれ少しおつ交流をしていたので少し休めばえに戻ると思ひました。

しかし年が明けても友人とのゲームは楽しそうにする

ものの、学校には行けない状況が続く、でも学校は
変わりたくないと言うので、こちらに
お世話になる事に
しました。

初めは料が一杯で家庭教育
支援コースから始めました。
しかしすぐにコロナで休校に
なってしまいました。その間も、

山下先生に温かく寄りそって頂
きながら、指導を受け
休校が明け分散登校が始ま
った時には登校する事が
出来ました。しかし又すぐ
に行けなくなり、復学支援

コースに切り込先生に担
当して頂く事になりました。
何度もお電話でお話して
いく中で、私の子供の事を

自分の事の様に、感じ先回りするクセを直し、客観的に
見守れる様になったと思います。

最初の頃は簡単に復学へ向かえそうに思っており
至したのに、結局フルコースお世話になり気が付けば二年が
過ぎておりました。

娘の方はまだ波があります。先日は「お母さん、

いつもありがたう。私は元氣になったよ。」と言ってくれ、少し
おつですが、前を向き自立できている様に感じます。

いつも冷静で的確な判断をして下さる辻先生、子供に
明るく寄り添って下さった石川先生、優しく支えて

下さった 本田先生にはいより感謝申し上げます。
こちらを卒業しても家族で頑張っていけると
思える様になりました。ありがとうございました。
時節柄くれぐれもご自愛下さり、ますます
ご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

令和四年 五月十二日